A:よくできた B:できた

C:あまりできなかった D:できなかった

1		1		7.81		, 10,0			
対している。	No.		項目	評価の観点	Α			D	具体的な改善策
# 学科学 所 19 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1								
2	2	т [	学年目標	いをもち、学年の目標を目指した実践が	53.0	47.0	0.0	0.0	
1	2	育目	教育課程		27.0	73.0	0.0	0.0	
1				長期及び短期指導計画を見直しているか	27.0	67.0	6.0	0.0	長期休みに学年で見直し共有しよう。
10   日本の内の性質を含まれているのでは、	4		記録		40.0	27.0	33.0	0.0	今後も連絡会で楽しかった遊びや子どもの成長を共有しよう。
6	5				33.0	40.0	27.0	0.0	16時から10分間記録をとる時間を設け、自分なりに目標を立て、せめて月1回は必ず提出しよう。
8 日本	6			聴く やってみよう 考えよう」を意識	67.0	33.0	0.0	0.0	
S	7			子ども一人一人を大切に保育しているか	80.0	20.0	0.0	0.0	
10   10   10   10   10   10   10   10	8	Ⅱ 楽			60.0	33.0	7.0	0.0	子ども達がゆったりと遊び込める時間の中で、個々の課題が見えるように行事 の見直しよう。
10   10   10   10   10   10   10   10	9		指導内容		20.0	67.0	13.0	0.0	環境の再構成をする楽しさやそれに対しての子ども達の反応を見る喜びを感じる。 環境の再構成のアイデアを保育者間で出し合おう。
11	10	稚園		体力の向上につながる保育活動をしてい	27.0	73.0	0.0	0.0	
12   する気持ちを育てているか	11				40.0	40.0	20.0	0.0	子どもと相談して目に入りやすい場所にプランター等を置いたり、保育者が愛情をもって飼育栽培に関わろう。キエーロの活用等、SDG'Sに関心を寄せ、ゴミを減らしていこう。
14	12				67.0	33.0	0.0	0.0	
4	13		危機管理		73.0	27.0	0.0	0.0	
15   15   15   15   15   15   15   15		ш		を行い、安全に快適に生活できるように	80.08	20.0	0.0	0.0	
16	15	理•			60.0	27.0	13.0	0.0	机上整理に努める。守秘義務の研修を年1回行い、学期に1回は声を掛ける。 個人情報の見えるパソコン画面が開いたままにならないように気を付けよう。
17	16		情報発信	の教育方針や幼児期の教育、幼児の育ち について伝えているか	87.0	13.0	0.0	0.0	
18	17				80.0	20.0	0.0	0.0	
19   子育で支援    表   表   表   表   表   表   表   表   表	18		支援	け、保護者と一緒に喜び合うことができ	80.0	20.0	0.0	0.0	
20	19			うような関わりや具体的な支援をしてい	40.0	60.0	0.0	0.0	保護者の思いや悩みに寄り添いたい。
21	20				53.0	47.0	0.0	0.0	
22   携   家庭との 連携   深酸合いで (無限の)に (				放、ぴよぴよサロン等を通して、地域の	67.0	33.0	0.0	0.0	
23		携		アレルギー対応や体調管理を行い、安心	73.0	27.0	0.0	0.0	
地域との 連携   地域の方々や保・幼・小・中学校との交   60.0   40.0   0.0   0.0   0.0   0.0       25	23				80.0	20.0	0.0	0.0	
25	24	ļ	地域との	地域の方々や保・幼・小・中学校との交	60.0	40.0	0.0	0.0	
連携   大学と密に連携し、園運営に活かしてい   47.0   53.0   0.0   0.0   0.0       27	25		大学との		40.0	60.0	0.0	0.0	
27   28   27   28   29   29   29   20   20   20   20   20	26	]			47.0	53.0	0.0	0.0	
28   組織運営   日いに素質に話せる雰囲気 つくりをし、   33.0   53.0   7.0   7.0   一人ひとりの思いを尊重しよう。職員室をいつも温かい雰囲気に   29   29   29   20   20   20   20   20		Ţ.		事務分担や役割分担は適切に機能してい	40.0	40.0	20.0	()()	役割分担を適切に行い、みんなで声を掛け合いながら協力して動こう。気付いたら動く!"自分がする"の気持ちをもとう。
30 通級教室や外部機関との連携を図ってい 47.0 53.0 0.0 0.0 3か 47.0 53.0 0.0 0.0 0.0 3か 47.0 53.0 0.0 0.0 0.0 3か 研修会に積極的に参加し、学んだことを 33.0 67.0 0.0 0.0 0.0 実践に活かそうとしているか 33.0 67.0 0.0 0.0 立体的・対話的な研修ができるようにどのような園内研修をしたいのかる 必要な園内研修を行い、日々互いに高め 37.0 53.0 20.0 0.0 主体的・対話的な研修ができるようにどのような園内研修をしたいのかる	28	組織		それぞれの思いを伝え合っているか	33.0	53.0	7.0	7.0	一人ひとりの思いを尊重しよう。職員室をいつも温かい雰囲気にしよう。
30	29	運営			33.0	60.0	0.0	7.0	互いのよさを見付けよう。言葉にして伝え合おう。
SI   VI   研修・	30				47.0	53.0	0.0	0.0	
【っっ】修】 <sup>研先</sup> 【必要な園内研修を行い、日々互いに高め 【って0】530】300┃ 00┃ 主体的・対話的な研修ができるようにどのような園内研修をしたいのか?			THE	研修会に積極的に参加し、学んだことを	33.0	67.0	0.0	0.0	
ロのフとしているの 即日だるエア 石になりフェア ア が中間に回さたてて進めていこう。	32	修		必要な園内研修を行い、日々互いに高め 合おうとしているか	27.0	53.0	20.0	0.0	主体的・対話的な研修ができるようにどのような園内研修をしたいのかを話し合い、高め合える1チームになろう!リーダーが年間計画をたてて進めていこう。